

平成29年 第3回

仁木町議会臨時会会議録

開会 平成29年8月8日(火)

閉会 平成29年8月8日(火)

仁木町議会

平成29年第3回仁木町議会臨時会議事日程

- ◆日 時 平成29年8月8日（火曜日）午前10時30分 開会
◆場 所 仁木町役場 3階議場
-

◆議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 議会運営委員会委員長報告
日程第3 会期の決定
日程第4 諸般の報告
日程第5 行政報告
日程第6 議案第1号 平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）
日程第7 同意第14号 仁木町副町長の選任について
日程第8 同意第15号 仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について

平成29年第3回仁木町議会臨時会会議録

開 会 平成29年8月8日（火） 午前10時30分
 閉 会 平成29年8月8日（火） 午前11時30分

議 長 横 関 一 雄 副 議 長 上 村 智 恵 子

出席議員（9名）

1 番 佐 藤 秀 教 2 番 嶋 田 茂 3 番 住 吉 英 子
 4 番 野 崎 明 廣 5 番 宮 本 幹 夫 6 番 林 正 一
 7 番 水 田 正 8 番 上 村 智 恵 子 9 番 横 関 一 雄

欠席議員（0名）

な し

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者

町 長	佐 藤 聖 一 郎	教 育 長	角 谷 義 幸
副 町 長	美 濃 英 則	教 育 次 長	泉 谷 享
総 務 課 長	新 見 信	農 業 委 員 会 会 長	鶴 田 壽 廣
財 政 課 長	岩 井 秋 男	農 業 委 員 会 事 務 局 長	渡 辺 吉 洋
会 計 管 理 者	伊 藤 利 文	選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長	(新 見 信)
企 画 課 長	嶋 井 康 夫		
住 民 課 長	川 北 享		
ほ け ん 課 長	岩 佐 弘 樹		
農 政 課 長	鹿 内 力 三		
建 設 課 長	可 児 卓 倫		

議会事務局職員出席者

事 務 局 長 浜 野 崇
 総 務 議 事 係 主 事 干 場 雅 矢

開 会 午前10時30分

○議長（横関一雄）おはようございます。

定刻となりましたので、これから会議を始めたいと思います。

只今の出席議員は、9名です。定足数に達していますので、只今から、平成29年第3回仁木町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（横関一雄）日程第1『会議録署名議員の指名』を行います。

本日の会議録署名議員は、仁木町議会会議規則第123条の規定により、3番・住吉議員及び4番・野崎議員を指名します。

日程第2 議会運営委員長報告

○議長（横関一雄）日程第2『議会運営委員会委員長報告』を議題とします。

本件について、委員長の報告を求めます。住吉委員長。

○議会運営委員長（住吉英子）皆さん、おはようございます。

議会運営委員会決定事項について、報告いたします。本臨時会を開催するにあたり、本日、8月8日火曜日に議会運営委員会を開催し、本日開会の臨時会の会期日程等議会運営に関する事項について、調査いたしました。

委員会決定事項。まずはじめに、付議事件について申し上げます。本臨時会には、議案1件、同意2件の合計3件が付議されております。

次に、議事進行について申し上げます。日程第5までは、これまでと同様に進めます。日程第6の補正予算については、即決審議でお願いいたします。日程第7及び第8の同意につきましては、提案説明を受けた後、会議を休憩に移し別室にて協議の上、即決審議でお願いいたします。

続いて、会期について申し上げます。本臨時会招集日は、本日、8月8日火曜日。会期は、開会が8月8日、閉会が8月8日の1日限りといたします。

最後に、その他事項として、当面する行事予定については、お手元に配布のとおりでございます。以上で、議会運営委員会決定事項についての報告を終わります。

○議長（横関一雄）委員長の報告が終わりました。

委員長報告のとおり、議事を執り進めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「ご異議なし」と認め、そのように決定しました。

日程第3 会期の決定

○議長（横関一雄）日程第3『会期の決定』の件を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、議会運営委員会委員長報告のとおり、本日、8月8日の1日限りにしたいと思います。これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「ご異議なし」と認めます。

したがって、本臨時会の会期は、本日、8月8日の1日限りとすることに決定しました。

日程第4 諸般の報告

○議長（横関一雄）日程第4『諸般の報告』を行います。

はじめに本臨時会に、地方自治法第121条の規定に基づき、説明員として出席を求めた者はお手元に配布のとおりです。

本日の臨時会には、7月20日開催の第1回仁木町農業委員会総会において、新たに鶴田壽廣氏が会長に選任され、本日まで出席をいただいております。鶴田会長には、これからも本町農業の振興にご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

監査委員から、例月出納検査報告書、平成29年度第4回が提出されております。内容はお手元に配布のとおりです。

次に、平成29年第2回定例会以降の議長の活動報告を印刷し、お手元に配布しております。

7月9日に行われた第34回さくらんぼフェスティバルは、近年稀に見る好天に恵まれ、多くの来場者を迎えることができ、大変盛況でありました。当日出席していただきました議員各位、また、炎天下の中、実行委員として業務にあたられた関係機関の皆さま、町職員各位に敬意と感謝を申し上げます。

7月11日には、後志町村議会議長会主催のパークゴルフ大会が北後志管内の赤井川村で開催され、参加してまいりました。お忙しい中、応援に駆けつけていただきました佐藤町長並びに美濃副町長、更に健闘いただいた議員各位にこの場をお借りし、感謝とお礼を申し上げます。

なお、議長の活動報告の詳細は、事務局に復命書を提出しておりますので、必要な方は後程ご高覧願います。

続いて、北後志衛生施設組合議会並びに、北後志消防組合議会の開催状況について報告します。北後志衛生施設組合、北後志消防組合議会定例会が7月6日に招集され、出席してまいりました。それぞれの議会における議決内容については、お手元に議案の抜粋を添付しておりますので、後程ご高覧願います。以上で私の諸般の報告といたします。

日程第5 行政報告

○議長（横関一雄）日程第5『行政報告』を行います。

佐藤町長から行政報告の申し出がありますので、これを許します。佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）平成29年第3回仁木町議会臨時会が開催されるにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、ここに平成29年第3回仁木町議会臨時会を招集申し上げましたところ、横関議長、上村副議長をはじめ、議員各位におかれましては、公私共にご多忙の時期とは存じますが、ご参集賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

まずは先月、福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生しました記録的な集中豪雨により多大な被害が出ました。犠牲になられた方々へお悔やみ申し上げますとともに、被災地の1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます次第であります。

今、台風5号が北海道に向かって接近しておりますが、このように年々予測のつかない天候に見舞われることが全国各地において頻発しております。本町におきましても今年に入り、春先には暴風に襲われ、先月には記録的短時間の局地的な豪雨により被害を受けた方もおりました。今後も予測できない天候状況に対しまして、町としても防災態勢を更に高め、いつ起こるかわからない災害に備えてまいる所存であります。

それから先般、仁木町農業委員会総会に際しまして、鶴田壽廣氏が新たな会長として選任され、本日の臨時会より出席をしていただいております。新たな農業委員会制度の下、本町におきましても、新たな農業委員会体制が動きはじめたわけではありますが、鶴田会長を中心に、より一層地域と農業者の信頼に応えていただき、農地の確保、有効利用を進め、農業の振興と農村の活性化の実現に大きく寄与されますことをご期待申し上げますとともに、これまで長きにわたり農業委員会の会長としてご活躍していただきました天野前会長に対しても、この場をお借りし衷心より感謝と敬意を表する次第であります。

さて、本臨時会には、住吉議会運営委員長からご説明がありましたとおり、平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）、同意第14号として仁木町副町長の選任について、同意第15号として仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について、計3件の議案を提出しております。格別のご審議を賜りますようお願い申し上げます、平成29年第3回仁木町議会臨時会開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

それでは、行政報告をさせていただきます。

はじめに、「北海道みんなの日」制定記念式典及び記念レセプションについて申し上げます。7月17日を「北海道みんなの日」（愛称・道みんなの日）と定める北海道みんなの日条例が本年3月に制定され、制定後初となった当日、制定を記念する式典及びレセプションが北海道議会議場とホテルポールスター札幌を会場に開催され、道内の市町村長と共に私も出席してまいりました。式典では、高橋はるみ知事から、道民であることを誇りに思う心を育み、今後の北海道を考える契機にしたいと挨拶があり、大谷 亨北海道議会議長から道みんなの日制定宣言がありました。北海道みんなの日は、北海道の歴史、自然及び風土並びに文化、産業等についての理解や関心を深め、その価値を改めて認識し、道民であることを誇りに思う心を育むことにより、道民が一体となってより豊かな北海道を築いていくことを期すとともに、道外において、北海道の価値が広く認識される契機とするために設けられたものであり、1869年（明治2年）幕末の探検家松浦武四郎が蝦夷地の名称に関して「北加伊道」をはじめとする候補を当時の政府に提案した日が7月17日であったことから、それにちなんで定められたものであります。また、来年は北海道命名から150年の節目を迎えると同時に、名付け親である松浦武四郎生誕200年を迎える年でもあります。ご承知のとおり、本町にとっても松浦武四郎は蝦夷地検分の折、現在の本町にあたる地域の山野に着目して、その豊富な樹木や余市川の水利に恵まれた広い沃野、余市・小樽を控えた地理的好位置などを挙げ、開墾の必要性を説いたと伝えられており、本町開拓の黎明を告げる先覚者として親しまれてきた存在です。今後、北海道150年を祝う各種事業が展開される予定となっております、本町においても北海道及び道内市町村と連携を図りながら、記念事業を盛り上げてまいりたいと考えているところであります。

次に、JA新おたるミニトマト集出荷貯蔵施設の建設について申し上げます。新おたる農業協同組合では、全国有数の産地となったミニトマトの生産・販売基盤をより一層強固なものとするため、集出荷貯蔵施設の建設に着工いたしました。東町1丁目13番地1の町有地、9163.01㎡を30年間貸与し、延床面積4740.61㎡の施設に、カメラ選別や糖度センサーなどの機能を備えた選果機を整備し建設するものでありま

す。6月26日に一般競争入札により建設事業者を決定、7月6日の地鎮祭を経て本格的な工事に着手しており、平成30年3月上旬完成の予定となっております。ミニトマトについては、本町のまち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略において、地域産業の競争力強化プロジェクトの一つに位置付けており、建設に係る総事業費22億円のうち、国費10億円と町費5億円を合わせ15億円の補助金を予算措置し、支援することとしております。本町の基幹産業である農業において、生産額の約6割をトマト類が占めており、今後、本施設が稼働することにより、産地としての価値をより一層高めていくことを期待しているところであります。以上で行政報告とさせていただきます。

○議長（横関一雄）佐藤町長の行政報告が終わりました。次に、角谷教育長から教育行政報告の申し出がありますので、これを許します。角谷教育長。

○教育長（角谷義幸）改めまして、おはようございます。

早速ではございますが、平成29年第3回仁木町議会臨時会における教育行政報告を申し上げます。

はじめに、第84回NHK全国学校音楽コンクール北海道ブロックコンクール出場について申し上げます。7月27日、小樽市民センター・マリンホールにおいて、第84回NHK全国学校音楽コンクール小樽・後志地区大会が開催され、本町からは仁木小学校と仁木中学校が出場いたしました。昨年の小樽・後志地区大会で惜しくも銀賞受賞となった仁木小学校は、出場校中最も少ない人数編成でありながら、他校に負けない明るさとチームワークで美しくすばらしいハーモニーを会場に響かせ、見事金賞を受賞。9月2日、わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）において開催される北海道ブロックコンクール（小学校の部）、出場の切符を2年ぶりで手に入れました。仁木中学校につきましては、銅賞受賞となり、残念ながら北海道ブロックコンクールへの出場には至りませんでした。教育委員会といたしましては、これまでの子どもたちの頑張りはもちろんのこと、保護者の皆さまのご支援やご協力、更にはご指導いただいた先生方のご尽力に対し深く感謝しているところであり、北海道ブロックコンクールにおける仁木小学校の活躍を大いに期待しているところであります。なお、小樽後志地区大会審査結果につきましては、次のとおりとなっております。後程ご高覧願います。

次のページに移ります。中学校の陸上及び卓球並びに剣道での全道大会出場結果について申し上げます。

はじめに、陸上であります。7月1日、小樽市手宮公園陸上競技場において、平成29年度後志中学校体育大会第70回後志中学校陸上競技選手権大会が開催されました。本大会は、小樽・後志の中学生が一堂に会し、トラック競技とフィールド競技で日頃の練習の成果を競い合う大会で、各種目1位の選手及び北海道標準記録をクリアした選手に全道大会への出場資格が与えられ、本町からは仁木中学校生徒11名が男女の各100mなど、10種目に出場いたしました。結果は、男子110mハードルで1年生の佐藤康生さん、女子200mで3年生の岩田澄香さん、女子走り幅跳びで1年生の日野咲夢さんがそれぞれ1位となり、7月28日から30日までの3日間、帯広市で開催された平成29年度北海道中学校体育大会・第48回北海道中学校陸上競技大会へ出場いたしましたが、残念ながら3選手とも決勝進出には至りませんでした。

次に、卓球であります。7月22日、余市町総合体育館において、平成29年度後志卓球選手権大会兼北海道卓球選手権大会予選会が開催され、本町からは仁木中学校生徒6名並びに銀山中学校生徒6名がシングルスとダブルスそれぞれに出場いたしました。本大会は、後志の中学1年生及び2年生対象の大会であり、シングルスは学年別、男女別に、ダブルスは男女別に競い合い、シングルスはベスト8までの選手に、ダブルスはベスト4までの選手に全道大会への出場資格が与えられます。結果は、中学2年生男子シングルスで銀山中学校の野村誠一郎さんがベスト8に入り、9月9日、10日の2日間、函館市で開催される平成

29年度北海道卓球選手権大会兼全日本予選会への出場が決定いたしました。野村選手には、日々の練習成果を十分に発揮され、悔いの残らないゲームで最後まで戦い抜いてほしいと願っております。

次に、剣道であります。7月28日、東川町B&G海洋センターにおいて、平成29年度北海道中学校体育大会・第38回北海道中学校剣道大会が開催されました。本大会は、全道各地区の予選大会を勝ち抜いた個人及び団体が男女別に競い合う大会で、本町からは女子団体戦に銀山中学校が後志地区代表として出場いたしました。結果は予選リーグで敗退となりましたが、全道の強豪相手に臆することなく戦うことができ、また、勝敗だけではなく、仲間との友情の輪を深めることができた大会であったと受け止めております。

最後に、第39回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会出場結果について申し上げます。

7月15日から17日までの3日間、旭川市において、第38回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会兼第32回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会（第39回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道予選会）が開催され、本町からは仁木野球スポーツ少年団が出場いたしました。全道大会は、各地区予選を勝ち抜いた16チームによるトーナメント戦で行われ、強豪チームを相手に勝利を重ねた仁木野球スポーツ少年団は、決勝戦で石狩・千歳ガッツ野球スポーツ少年団と対戦し、延長戦の末12対11で勝利。同大会初出場初優勝、後志勢としても初優勝の快挙を成し遂げ、8月3日から6日までの4日間、宮城県東松島市において開催された第39回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に北海道代表として出場いたしました。全道大会決勝のスコアを載せてございますので、後程ご高覧願います。東松島市・鷹来の森運動公園野球場を会場に開催された全国大会は、全国16ブロックの代表チームによるトーナメント戦で行われ、仁木野球スポーツ少年団は1回戦で四国代表の徳島県・高志スポーツ少年団と対戦いたしました。試合は打撃戦の試合展開となり、5回終了時で9対11と相手チームにリードを許しましたが、持ち前の粘り強さを発揮し6回に2得点をあげ、11対11の同点。7回表、相手チームが1得点をあげ、仁木野球スポーツ少年団も反撃に出ましたが、一步及ばず11対12で惜しくも1回戦敗退となりました。全国大会スコアも載せてございますので、後程ご高覧願います。なお、軟式野球を通じた団員相互の交流を目的に、敗退したチームや地元宮城県のチームとの交流試合のほか、元プロ野球選手（石毛宏典氏ほか3名）による野球教室に参加することができ、選手たちにとりましては大変貴重で有意義な大会であったと思います。大会中、会場には遠方にもかかわらず、保護者など多くの方々が応援に駆け付け、全国という大きな舞台でも選手たちは普段どおり伸び伸びと、日々の練習の中で培った最後まで諦めない心や集中力を発揮してくれたと思います。選手たちのこれまでの頑張り、熱心に指導されてきた監督、コーチ陣、それを支えてくださった保護者の方々、関係各位に対しまして、敬意と感謝を申し上げる次第であります。

教育委員会といたしましても、町民の健康増進、体力向上を図るため、スポーツ振興、普及及び各種スポーツ大会への参加支援を引き続き行ってまいります。

なお、スポーツ大会参加に係る予算に不足が生じるため、今臨時会において補正予算を計上させていただきましたので、よろしく願い申し上げます。

結びに、各種大会での子どもたちの活躍をご期待申し上げ、平成29年第3回仁木町議会臨時会教育行政報告といたします。

○議長（横関一雄）角谷教育長の教育行政報告が終わりました。これで、行政報告を終わります。

日程第6 議案第1号

平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）

○議長（横関一雄）日程第6、議案第1号『平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）議案第1号でございます。

平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）。平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ162万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ39億2548万9000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表 歳入歳出予算補正による。平成29年8月8日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。

詳細につきましては、岩井財政課長からご説明申し上げますので、ご審議の上ご可決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（横関一雄）岩井財政課長。

○財政課長（岩井秋男）議案第1号、平成29年度一般会計補正予算（第2号）について、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出予算総額に162万9000円を追加し、歳入歳出それぞれ39億2548万9000円とするものでございます。

1ページをお開き願います。第1表 歳入歳出予算補正、歳入でございます。18款、繰入金を補正いたしまして、歳入合計額に補正額の合計162万9000円を追加し、補正後の歳入合計額を39億2548万9000円とするものでございます。

次に、2ページでございます。歳出でございます。2款、総務費と10款、教育費を補正いたしまして、歳出合計額に補正額の合計162万9000円を追加し、補正後の歳出合計額を39億2548万9000円とするものでございます。

次に、3ページでございます。事項別明細書、歳入でございます。1款、町税から21款、町債まで、全ての科目を載せたものでございます。

次に、4ページをお開き願います。歳出でございます。1款、議会費から14款、予備費まで、全ての科目を載せたものでございまして、右側の補正額の財源内訳でございますが、全て一般財源で162万9000円の増となっております。

次に、5ページをお開き願います。歳入でございます。18款、繰入金、1項、基金繰入金、1目、財政調整基金繰入金につきましては、財源調整のため162万9000円を繰り入れるものでございます。

次に、7ページをお開き願います。歳出でございます。2款、総務費、2項、徴税費、1目、税務総務費につきましては、法人町民税におきまして一法人から前年度に本年度分の予定納付分として納入いただきました法人町民税が、確定申告の結果101万3000円の還付が発生いたしましたので、還付加算金を加えた102万3000円を追加するものでございます。

次に、8ページでございます。10款、教育費、3項、中学校費、1目、学校管理費につきましては、全道・全国中体連・中文連の全道大会出場種目の増加に伴い、参加補助金に不足が生じたので20万円を追加するものでございます。5項、保健体育費、1目、保健体育総務費につきましては、仁木野球スポーツ少年団の全国大会出場に伴い、参加報償に不足が生じたので40万6000円を追加するものでございます。以上で説明を終わります。

○議長（横関一雄）説明が終わりました。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、議案第1号『平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）』を採決します。

お諮りします。本件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「ご異議なし」と認めます。

したがって、議案第1号『平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）』は、原案のとおり可決されました。

日程第7 同意第14号

仁木町副町長の選任について

○議長（横関一雄）日程第7、同意第14号『仁木町副町長の選任について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）同意第14号でございます。

仁木町副町長の選任について。仁木町副町長 美濃英則は、平成29年8月26日その任期を満了するので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第162条の規定に基づき、次の者を仁木町副町長に選任したいので、議会の同意を求める。平成29年8月8日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。記といたしまして、虻田郡倶知安町北1条東2丁目3番地1、林 幸治、昭和34年3月5日生まれでございます。

林 幸治氏の経歴等について、私の方から申し上げます。生年月日、住所については先程も申し上げましたが、昭和34年3月5日生まれの満58歳で札幌市出身でございます。現住所は虻田郡倶知安町北1条東2丁目3番地1でありまして、最終学歴は昭和56年3月に酪農学園大学酪農学部を卒業しております。職歴といたしましては、昭和56年5月に日本国有鉄道苗穂工場に入社、昭和60年3月同社を割愛退職し、同年4月北海道庁に入庁、網走支庁斜網西部地区農業改良普及所で農業改良普及員として勤務され、平成5年5月釧路支庁農務課農政係主任、農政部農業改良課研究推進係主任、平成11年5月北海道立花・野菜技術センター総務部技術普及部主査を経て、平成14年には北村、現・岩見沢市に産業課農政係長として2年間派遣、その後平成16年4月から北海道農政部農産園芸課主査、農産振興課主査、食品政策課主査を経て、平成21年4月北海道立中央農業試験場企画情報室長補佐、北海道病害虫防除所主幹、更には平成25年4月より後志総合振興局総務課主幹となり、同年4月から仁木町に派遣、仁木町農政課主幹として2年2か月勤務、平成27年6月からは後志総合振興局において農務課長として勤務され、現在に至っております。この度、副町長として同意をお願いしております。林 幸治氏は、今ほど経歴でも申し上げたとおり、農業分野での経験が抱負であり、現在も後志農業発展のために努められ、農業従事者だけではなく、各自治体、企業からも頼りにされる存在として活躍されております。私自身4年前、今の立場に就任して以来、公約の一つとして農業振興を掲げておりますが、当初から仁木町農業の実情や農業全般についての知識や

方策を教示していただきました。また、私が目指す理想に向けての理解を示していただき、果樹の生産振興、担い手の育成確保、稲作農業の体質強化、緊急対策、農業機械等の導入、農業基盤整備促進事業、農産物のブランド産地化と企業誘致、新設ワイナリーへの支援、その他必要に応じて事務のサポートを行ってきました。特に、担い手の育成確保については、競争力のあるミニトマト産地づくり支援事業として地方創生先行型に応募し、内閣府から採択され、更には内閣府が取りまとめた取組事例集にも紹介されるなど全国的に関心を集める結果となりました。具体的にはJA新おたと連携し、当該交付金を活用し、研修生用の住宅4戸を設置した他、ミニトマト集出荷貯蔵施設の整備計画の策定に資するための調査や実証実験も行いました。また、農産物のブランド産地化と企業誘致については、札幌市大通ビッセにおいて仁木町フェアを開催、新千歳空港センタープラザでサクランボのPRを企画、道庁農政部のネットワークにより、仁木町と㈱もりもとの地域活性化包括連携協定へと発展させました。新設ワイナリーへの支援については、道庁農政部、土地連、北海道農業会議等に働きかけを行った結果、再生利用交付金の活用が可能となり全ての新設ワイナリー事業者が利用し、初期投資の負担軽減が図られました。そして仁木町派遣後、平成26年6月から後志総合振興局農務課長に就任し、JA新おたるミニトマト集出荷貯蔵施設及び選果機の導入事業の採択に向け、道庁農政部の理解を得て国からの承諾を引き出しました。これは全国初めての事案となりました。更に、㈱もりもとの包括連携協定についても、北海道銀行と連携し側面から支援をしていただいております。ご承知のとおり、今、地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少の影響により大きく変化しつつありますが、今後、北海道新幹線や高規格道路の建設等によりインフラ整備が加速的に進むと同時に、人や物の流れが変化することが予測されます。本町はこのことを踏まえ、魅力的な地域づくりを目指し、様々な事業を展開していくことが求められます。また、私の二期目の公約として、地域住民が安心して暮らすことができる地域福祉の充実を掲げ今後も取り組んでまいります。これまで取り組んでまいりました産業振興につきましても、更に加速させ力強い産業の構築を目指し取り組んでまいり所存でございますし、この度、副町長として上程させていただきます。林 幸治氏は、今後私意を受け、良き理解者として共に今後の仁木町政を担っていただけるものと確信しております。これらのことを含め、林氏は山積する諸課題に的確に対応推進していくことができる副町長として適任であると判断し、ここに提案するものでございます。格別のご高配を賜り、ご同意賜りますよう切にお願い申し上げます。提案理由とさせていただきます。

○議長（横関一雄）説明が終わりました。

暫時休憩します。

休 憩 午前11時08分

再 開 午前11時12分

○議長（横関一雄）休憩前に引き続き、会議を開きます。只今の出席議員は、9名です。

これから、同意第14号『仁木町副町長の選任について』の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行いません。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、同意第14号『仁木町副町長の選任について』を採決します。

この採決は、起立によって行います。本件について、これに同意することに賛成の方は起立願います。

〔全員起立〕

○議長（横関一雄）全員起立です。

したがって、同意第14号『仁木町副町長の選任について』は、同意することに決定しました。

日程第8 同意第15号

仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について

○議長（横関一雄）日程第8、同意第15号『仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について』を議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）同意第15号でございます。

仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について。仁木町監査委員 中西 勇は、平成29年8月26日その任期を満了するので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第196条第1項の規定に基づき、次の者を仁木町監査委員に選任したいので、議会の同意を求めます。平成29年8月8日提出、仁木町長 佐藤聖一郎。記といたしまして、余市郡仁木町西町3丁目18番地、原田 修、昭和26年1月1日生まれでございます。

本町には法の規定に基づき、議員選出監査委員1名と識見監査委員1名、計2名により行財政全般にわたっての監査をいただいております。本議案につきましては、そのうちの識見選出監査委員1名の選任について、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めます。

原田 修氏の経歴について、私の方から申し上げます。生年月日、住所については先程も申し上げましたが、昭和26年1月1日生まれの満66歳でございます。住所は西町3丁目18番地で、最終学歴につきましては、昭和44年3月に北海道立仁木商業高等学校を卒業しております。職歴といたしましては、昭和44年5月に仁木町役場に採用され、産業課に配属となっております。昭和59年4月には企画財政課財政係長になり、その後、財政課財政係長、企画課地域振興係長、総務課総務係長を経て、平成11年12月には管理職に昇格し、総務課長、財政課長を経て、平成19年4月から平成24年9月までの間、仁木町教育委員会教育長として重責を全うされ、公務員としての勤めを終えられ現在に至っております。その他の役職歴といたしましては、平成24年10月から平成25年12月まで社会福祉法人仁木福祉会幹事、平成25年12月から現在まで社会福祉法人仁木福祉会理事を務めております。監査委員は時代の潮流を的確に受け止め本町の財務管理、事業の経営管理、その他行財政運営に関し、住民の代表として議会とは別の角度から監視・点検し、不適切なものについては早期に指導改善をさせ、また、住民からの請求に対して的確に対処して、そのことを町民に公表するという大変に重要な職責と権限を有しております。ご承知のことと存じますが、原田 修氏は総務と財政の仕事長く経験しており、条例・規則はもちろんのこと、予算の仕組み等につきましても長けている人物であります。私といたしましては、豊富な経験と優れた識見を有する監査委員として、原田 修氏が適任であると考え、提案をさせていただいたものでございます。なお、任期は平成29年8月27日から平成33年8月26日までの4年間でございます。議員各位のご賢察をいただき、ご同意賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願いたします。

○議長（横関一雄）説明が終わりました。

暫時休憩します。

休 憩 午前11時17分

再 開 午前11時21分

○議長（横関一雄）休憩前に引き続き、会議を開きます。只今の出席議員は、9名です。

これから、同意第15号『仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について』の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「質疑なし」と認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「討論なし」と認めます。これで、討論を終わります。

これから、同意第15号『仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について』を採決します。この採決は起立によって行います。

本件について、これに同意することに賛成の方は起立願います。

〔全員起立〕

○議長（横関一雄）全員起立です。

したがって、同意第15号『仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について』は、同意することに決定しました。

暫時休憩します。

休 憩 午前11時22分

再 開 午前11時26分

○議長（横関一雄）休憩前に引き続き、会議を開きます。只今の出席議員は、9名です。

佐藤町長から発言の申し出がありますので、これを許します。佐藤町長。

○町長（佐藤聖一郎）横関議長のお取り計らいにより、発言の機会を賜り誠にありがとうございます。

平成29年第3回仁木町議会臨時会の閉会にあたり、一言お礼のご挨拶を申し上げます。本臨時会に提案いたしました案件につきましては、議員各位の慎重なるご審議のもと、ご可決を賜り衷心より感謝を申し上げます。特に、この度の案件の中で、副町長並びに監査委員の選任について、ご同意を賜りましたことに改めて感謝申し上げる次第であります。

また、美濃副町長、中西代表監査委員お二方の任期満了の日は、今月の26日までであります。これまで重責が大きい職務に専念していただきましたことに対し、この場をお借りし、心から感謝を申し上げる次第であります。

中西代表監査委員におかれましては、本日の臨時会出席が所用のためかないませんでした。平成19年8月から平成25年3月まで5年8か月と平成25年8月27日から今日に至るまで、監査委員として長きにわたり役職を歴任していただきました。そして、美濃副町長におかれましても、同じく平成25年8月27日から、私の言わば片腕として、同じ夢に向かい共に歩んでいただきました同士であります。お二方のこれまでのご功績に対しまして、心から敬意と感謝の意を表するとともに、任期満了後は町民の1人としてではなく、我々の良き指導者、応援者として今後もご指導・ご支援をいただければ幸いです。

また、この度の議会の場でご同意を賜りました、お二方に対しましても、議会議員、皆さま方のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます次第でございます。

結びに、これからお盆が近づき、まだまだ暑い日が続くことが予想されますので、くれぐれもご自愛くださいますことをご祈念申し上げますとともに、今後におきましても、町に対しまして議員各位の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、本臨時会の閉会にあたりましてのお礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

○議長（横関一雄）お諮りします。本臨時会の会議に付された事件は全て終了しました。

したがって、仁木町議会会議規則第6条の規定により、閉会したいと思います。これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横関一雄）「ご異議なし」と認めます。

したがって、本臨時会はこれで閉会することに決定しました。

これで、本日の会議を閉じます。

平成29年第3回仁木町議会臨時会を閉会します。ご審議大変ご苦労様でした。

閉 会 午前11時30分

以上、会議の経過は書記が記録したものであるが、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員

平成29年第3回仁木町議会臨時会議決結果表

会 期 平成29年8月8日（1日間）

（開会～午前10時30分／閉会～午前11時30分）

議案番号	議 件 名	議決年月日	議決結果
議案第1号	平成29年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）	H29. 8. 8	原案可決
同意第14号	仁木町副町長の選任について	H29. 8. 8	同意可決
同意第15号	仁木町監査委員（識見選出委員）の選任について	H29. 8. 8	同意可決